

第20号

本小の教育「授業改善研」

特支互授

◦本小授業改善「主体的・対話的な深い学び」

今日は、（チャレンジ、通級2組）・バンケスタ雅代先生の「互見授業」である。本時は、4年生（男4名、女1名）での算数、単元名「がい数の使い方と表し方」である。
雅代先生は、言葉だけでなく、動きや、雰囲気や、空気感やら、あらゆるものに「本部ナマリ」が入った、純粋な、生粋の「ムトブンチュー」であります。私は、「ムトブンチュー」の薫りがプンブン香ばしい「雅代」が、大好きであります。そんな「雅代」が本日の授業の主人公です。「雅代と5人の仲間達」の 心温まる授業風景を お伝えします。

■ 通級 2組（算数）「バンケスタ雅代」 1校時目 [互見授業]



【児童の手（学習規律）】	【教室の色（支持的風土）】	【教師の目（教師の姿勢）】
■【児童観】「子供の様子」 ●普段、学級にて「居場所」のスペースが少なそうな子供の「居場所」が確実にある。 ●子供一人一人の「困り感」に対応している。 ●子供一人一人の「タイム」に対応している。 ●子供一人一人の「言語力」に対応している。 ●子供一人一人の「タイム」に対応している。 ●子供一人一人の「理解力」に対応している。 ●子供一人一人の「思考力」に対応している。 ●子供一人一人の「判断力」に対応している。 ●子供一人一人の「表現力」に対応している。 ●子供一人一人の「向う力」に対応している。 ●子供一人一人の「人間力」をはぐくんでる。 ●子供一人一人に「成就感」が育ちつつある。	■【教材観】「学びへの工夫」 ●各教室でも必要な「グッズ」が盛り沢山。 ●教室環境あらゆるモノが「UD」化対応 ●学習内容は「現学年の教科書」を使用 ●待つてあげれば、支援の方法によっては、自力解決へと、導く事ができる。 ●教師にも、耐える事と、待つてあげる心と子供の出来る、を信じてあげる事の大切さ ●「Ai-Full（愛が溢れる）」Plan の原点 ●「学び合い、認め合い、高め合う」学習 ●「コミュニケーション能力」「人間関係力」	■【指導観】「学びを創る」。 ●子供の「教育的ニーズ」に正対した指導内容。 ●子供の「心理的な安定」に配慮した指導過程。 ●子供の「人間関係形成」を考慮しながら進行。 ●子供の「思考力の援助」を意識した指導工夫。 ●子供の「やる気を喚起」、スイッチを入れる。 ●子供の「心の安心安全」を保障してくれる場。 ●子供の「学び合う姿勢」を培い、育む居場所。 【ホップ⇒ステップ⇒ジャンプ】

【感想】 「子ども」の「困り感」、「不安」、への 支え となる...。 その「通級指導室」を、見える化！

○「関わり合いに視点を当てた授業作り。友達に尋ねたり、尋ねられたことに答えたりする必要のある学習」

○「友達への依頼・要求の仕方や教示・援助の仕方について、実践を通して学ぶことができる、場の設定を」

○「学びの自覚を促し、次につなぐ学習指導の工夫。少しずつ成功体験を重ねていくことができるよう手立」

○「活動する」過程や「振り返る」過程で、自分自身の姿を振り返ったり、互いのよさを認め合ったりする

○「通級指導教室での様子を、在籍担任や保護者に連絡帳等で知らせ、子供の成長や課題について共通理解」

○「通級指導教室での学びの自覚を、在籍学級や日常生活での実践に「つなぐ」ことができるようにする！」

校長より

